



学校教育目標 社会に貢献しながら、
自立する生徒の育成
～気づき、考え、実行する～

やまゆり

校訓 「和の心」

指導重点

- ① 居心地がよく、やる気のある
学級集団・学校づくり
- ② 確かな学力の育成
- ③ 豊かな心の育成
- ④ 健やかな身体の育成
- ⑤ 特別支援教育の推進
- ⑥ 生徒の良さを伸ばし、課題を解決するための
「連携・協働」の推進



2学期後半です！

11月になりました。2学期も後半に突入です。この時期、心がけたいのは、落ち着いた学校生活です。自分の立場や役割、言葉遣いやマナーから、仲間・親・先生等との関係を見つめ直し、じっくり自分自身と向き合う時間を大切に過ごしてください。

あなたは、相手の立場を尊重して、思いやりの心で接していますか？

あなたは、自分の気持ちだけを優先して、他人を不快な思いにさせたり傷つけたりしていませんか？

ちょっとしたことから仲間とのトラブルが起きます。“望ましい人間関係”ってどんな関係ですか？



部活動では、新人大会が始まりました。1・2年生は、初の公式戦となります。これまでの練習の成果を発揮してください。これから冬の練習が始まります。1日の練習時間はとても短いですが、効率がよく、効果的な練習を考えてください。

生徒会役員選挙

道志中学校の新しいリーダーを決めるため、生徒会役員選挙が行われます。10月6日(月)の選挙管理委員会の発足以降、現生徒会役員の生徒や、新たに生徒会役員になることを志す生徒の立候補がありました。道志中学校の代表として、全校を引っ張っていかうという、強い意志を持っています。大変嬉しく誇らしいことです。3年生を中心とした現生徒会役員が、良き手本を示してくれたおかげです。

いよいよ選挙活動がスタートします。それぞれの願いや思いは異なるかもしれませんが、学校生活をより楽しく、より良いものにしていこうとする気持ちは共

通していることでしょう。全校の皆さんにお願いします。候補者の願いや思いをしっかりと受け止めて、これからの道志中学校を考える機会としてください。

読書の秋 こころとあたまの、深呼吸。

11月3日の文化の日を中心に、前後2週間を「読書週間」と言います。終戦まもない1947(昭和22)年、“読書の力によって、平和な文化国家を作ろう”という決意のもと、第1回が開催されました。翌年の第2回からは、10月27日～11月9日の2週間と定められ、この運動は全国に広がりました。今年で79回目を迎え、「こころとあたまの、深呼吸。」は、今年読書週間の標語入選作です。この標語の作者は「めぐるしい日常に息が詰まるとき、私は本を開きます。心が震え、ため息をつく。ハッと気がつき、息をのむ。ひと息ついて、まためくる。そうしてこころとあたまに酸素が満ちたら、どこまでも遠くへ泳いでいける気がします。」と標語に込めた意図を語っています。

本校では、毎朝8時25分から8時35分の10分間を「朝読書」とし、読書をしています。各自で読みたい本を持ってきたり、学校の図書の中から好きな本を選んだりして、読書に親しむ時間としています。たかが10分、されど10分。「継続は力なり」というように、朝のひと時を大切に、読書の習慣づくりをしています。



世の中には、一生かけても読み切れないほどの本があります。読書は、日常では体験できないような世界を感じたり、知ったりすることができます。秋の深まりと共に、素敵な本(一行)に出逢い、本からの学びが深まることを期待しています。